

創造・誇り・愛！ 輝く七中 煌めけ生徒！！

立川市立立川第七中学校

校長 大神田佳明

学校だより 第11号

令和2年2月7日



とらのき

〒190-0034 東京都立川市西砂町 6-28-3

TEL (042) 531-0511~3 FAX (042) 531-6103 URL <http://www.tachikawa.ed.jp/jh07/>



人工知能（AI）の時代に必要な力

校長 大神田佳明

暦の上では立春を過ぎましたが厳しい寒さが続いております。2月の学校公開日には、ご多用の中多くの保護者、地域の皆様にご来校いただき感謝申し上げます。

さて、社会が新たな段階「Society5.0」に突入しようとしています。これは、狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会に続く人工知能（AI）やロボットが高度な革新的技術により、経済発展と社会的課題の解決を両立する「人間中心の社会」です。

家庭では、AI搭載のスマートスピーカーに向かって「〇〇〇明日の天気は？」「〇〇〇2月のヒット曲をかけて」と話しかけると、声の命令を認識して、ニュースや天気予報を読み上げたり、お気に入りの曲をかけたりしてくれます。さらに、自動車の自動運転では、高速道路など限定的にシステムが自動運転する車が市販されています。身近なところでは、スマートフォンの音声認識や、インターネットの画像検索、お掃除ロボットなど、日常生活の様々なところでAIを使った技術が活用されています。これらは、AIが得意なディープラーニング（深層学習）の進化によって実現されています。AIは、たくさんの正確なデータを学習させておけば、コンピューターが人間の脳と同じように、データに含まれる特徴を段階的により深く学習することができるようになりました。AIの進化により、近い将来働く人の半数が仕事を奪われるという予測や、AIが人間の知能を超える時代がくるといふ仮説も提唱されています。

国立情報学研究所教授 新井紀子氏の著書「AI vs. 教科書が読めない子どもたち」を読むと、AIの機能は、コンピューター（計算機）であるため、基本的には四則計算で数式に翻訳できないことは処理できないと指摘しています。また、AIには、意味を理解できる仕組みが入っているわけではなく、文章の意味や図が読み解けず、読解力こそ人間がAIに負けず人生を切り開けるカギであると力説しています。さらに、新井氏の読解力についての調査と分析では、日本の中高校生の多くは、英語の単語や世界史の年表、数学の計算など、表層的な知識は豊富ですが、中学校の教科書程度の文章を正確に理解できていないことが分かり、とても深刻な事態であると述べています。

令和3年度から全面実施される学習指導要領への移項では、教師が教える場面と生徒たちに思考・判断・表現させる場面を効果的に関連付けながら指導していくことや、身に付けた知識や技能を活用したり、発揮したりできる深い学びを目指した授業改善に取り組んでいます。今後も、正解のない課題を解決する力や、自分で疑問点を洗い出し答えを見つけていく力など、AIにはできない資質・能力を育むことが重要です。

2月1日（土）学校公開日の授業参観の感想アンケートの中に、「国語の教育内容が論理的・実践価値が高い内容であると感じた。このような教育内容であれば、社会に出ても通用する人間が育つと思う。」という感想をいただきました。今後も、Society5.0時代に求められる、AIに真似のできない力を確実に習得できる授業を目指して取り組んでまいります。

日本ユニセフ協会より「感謝状」をいただきました

1月16日（木）昨年末に行ったユニセフ募金活動に対して、日本ユニセフ協会より学校事業部の金子様、鈴木様が来校して感謝状をいただきました。生徒会役員との懇談では、毎年七中生徒の募金は世界や日本の子どものために有効に活用しているというお話をいただきました。

2円のお金で、貧困や災害、紛争などに巻き込まれた子供たちが、半年分有効なビタミン剤を服用できるなど、七中生徒が集めた善意によって多くの子供たちの命を救うことができると分かりました。これからも持続可能な世界の実現を目指した生徒会活動ができることを期待します。

※感謝状の贈呈の様子



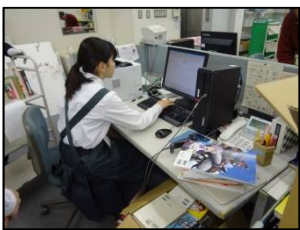
1年 移動教室 ～スキー実習を通して～

1月19日（日）～1月21日（火）に1年生は移動教室に行ってきました。スローガン「自分を知り、仲間を知り、自然を知る」のもと、生徒たちは2学期から実行委員を中心に準備を進めてきました。例年になく雪が少ない菅平でしたが、初めて見た銀世界に歓喜の声を上げていました。1・2日目は天候にも恵まれ周りの山々を一望することができました。3日目は前日までとは一変し朝から雪になり菅平らしい寒い1日になりました。スキーが初めての生徒たちも2日目には全員リフトに乗り、ぐんぐん上達していきました。インストラクターの方々の指導のもとスキー経験者も初心者も3日間でスキーの技能を上げることができました。1日目の夜はレク大会。有志たちによる歌やダンス、コントなどで、大いに盛り上がりました。2日目は講習後に雪上運動会でクラス対抗ソリリレーを行いました。色々ハプニングはありましたが2組が見事優勝しました。実行委員、学級委員、係長、室長などを中心にそれぞれが協力し、充実した3日間を過ごすことができました。まだまだ課題もありますが、これからの学校生活で改善、成長していくことを願っています。

（1学年主任 大沼 恵子）



2年 職場体験



1月20日（月）～24日（金）の5日間、43箇所の事業所にご協力いただき職場体験を実施いたしました。期間中に体験先の事業所を訪問すると、多くの事業所から「七中生は、大変よく取り組んでくれて、よい体験ができています。来年もよろしくお願いします。」との言葉をいただきました。保育園では、こどもたちに囲まれ明るく懸命に振る舞う生徒の姿が、デイサービス施設では、お年寄りと一緒に懸命に作業に取り組む生徒の姿が見られ、本当に感動しました。一部の事業所からは、もう少し元気に、積極的に施設の利用者とかかわることができたらよかったという声や、自分から積極的にお店の仕事に取り組んでほしかったとの声もいただきました。まだ中学2年生ですので、うまくいかなかった事も多くあるようですが、しっかりと振り返り、今後の糧にできればと思います。

5日間の職場体験では、仕事を通して、社会の仕組みや、仕事の厳しさや楽しさなど多くのことを学び体験することができました。今後も職場体験を活かして、来年の進路選択の時や将来の職業選択の時にむけ、自分の道を切り拓いていく力を付けていってほしいと思います。ご指導いただいた多くの事業所の皆様、ご理解とご支援いただきました保護者の皆様に感謝申し上げます。

（2学年主任 石月 勇治）

地域清掃



2月1日（土）の学校公開の午後に、地域清掃を行いました。約140名の生徒とPTAの方々で5つのルートに分かれ、1時間ほどかけて清掃を行いました。生徒たちは、一生懸命清掃に励み、普段お世話になっている通学路や地域に感謝の気持ちをこめて活動していました。集まったゴミの量を目の当たりにして、捨てるときのマナーの大切さを改めて実感しました。協力していただいた保護者やPTAの皆様、ありがとうございました。（生徒会担当 教諭 中西 宏一朗）

は、一生懸命清掃に励み、普段お世話になっている通学路や地域に感謝の気持ちをこめて活動していました。集まったゴミの量を目の当たりにして、捨てるときのマナーの大切さを改めて実感しました。協力していただいた保護者やPTAの皆様、ありがとうございました。（生徒会担当 教諭 中西 宏一朗）

第11回 中学生“東京駅伝”

走り終えた顔、“きりり”

朝、立川市のテントに着いた七中の選手たちは、かなり緊張している様子。選ばれたのは7人。インフルエンザで欠場を余儀なくされた選手の思いも胸に襷を待つ6人。部活の予定をやりくりして駅伝の練習会に参加し、レースでも一人一人がベストを尽くしていました。走り終えた顔には、安堵とともに、成長を感じさせる“きりり”

とした表情がありました。選手、そして、選考会にチャレンジしてくれたみなさん、お疲れさまでした。（主幹教諭 関田 光行）



表彰 ～七中生、頑張っています！～

- 男子ソフトテニス部
立川市民大会ソフトテニス団体戦中学生男子の部 第1位
- 男子卓球部
第十ブロック新人卓球大会 男子団体 Aチーム 優勝
同 Bチーム 第5位
東京都新人卓球大会 男子団体 優勝
- 女子卓球部
第十ブロック新人卓球大会 女子団体 Aチーム 優勝
同 Bチーム 第5位
東京都新人卓球体大会 女子団体 第2位

- サッカー 立川市選抜U-13部
三多摩ジュニアユースサッカー選手権大会 第3位
- 東京都教育委員会防災標語コンクール
「忘れずに 物資の備えと 心の備え」
1年 佐藤 亮太くん

コロナウイルス対策 ～ 校内においては、消毒液の設置及び、咳エチケット・うがい・手洗いを指導しています。ご家庭におかれましてもご指導よろしくお願いします。